

令和3年度1学年防災スクール 3月16日(水)

1学年防災スクールが、湯浅広川消防組合の指導の下、実施されました。

学校長挨拶・湯浅広川消防組合の講話のあと、1 起震車体験 2 ロープワーク 3 救助袋による降下 4 119番通報 5 担架での搬送 の5種目に分かれ各種目30分の実技訓練をローテーションで行いました。当日の生徒の感想を紹介します。

#### 1-1 竹井愛美

救助袋での降下訓練を初めて体験しました。3階で待っているときは少し怖かったけれど、やってみると思っていたほど危なくなくて災害時に安心して使えそうです。ロープの結び方講座では、簡単なものも難しいものもあったけど、友達と教え合ううちに覚えることができうまく結ぶことができました。今日の体験を忘れず大切にしたいです。

#### 1-2 上野山愛那

119番通報訓練をして、起こった場所や性別、服の色などその人の特徴をしっかりと把握し、落ち着いて通報先に情報を的確に伝えようと思った。起震車を体験し、もし家で地震が起きたときは、動かないものにつかまり落下物から身を守ることが大切だと思った。防災スクールを体験しとても勉強になりました。ありがとうございます。

#### 1-3 佐々木響輝

今回の防災スクールで、自分から積極的に動くことが大切だと思った。今日学んだことを活用して、非常時には自分から動き一人でも多くの人を助けることができるようにしたい。そして、次の世代の人々に受け継いでもらうことで未来の防災を考えることも大切だと思った。

#### 1-4 榎本晴花

緊急時は一度冷静にならないと危険だと思った。今日教えてもらったことはいざというときに役立つと思うので、しっかりと覚えておきたい。災害が起こったら自分の命を守りながら地域の人や近くにいる人も守れるような人間になりたいと思った。今日学んだことを家族に伝えたいと思う。

#### 1-5 江川 輝

和歌山県は将来、南海トラフ地震の発生で大きな被害を受けると言われているため、防災・減災の知識が必要です。救助袋を初めて体験し、災害の場面で経験したことのない人たちへどのように降りるかを説明することができればいいなと思いました。今後起こるであろう災害のために学ぶことができ良かったです。

